

（注）【↓指標】＝低減を目指す指標

指標名		単位	基準値		実 績		目 標				判定	H28実績に対する担当課評価と今後の対応 （実績値がない場合は、その理由）	データの出所
			26年度		28年度		27年度	28年度	29年度	30年度			
1	生徒の朝食の欠食率（高校3年生） 【↓指標】 健康国保課	%	12.0		13.1		12.0	12.0	12.0	12.0	低	高校生の朝食欠食率は、前年度と同値であり、目標を達成することはできなかった。 引き続き、学校や地域との連携により、望ましい食習慣の定着についての働きかけを進めたい。	がん等疾病予防支援システム(学校保健事業対象領域) H28データ
2	体力・運動能力調査の総合評価（5段階：A～E）のA・B・C段階の児童生徒の割合（小学校5年生・中学校2年生） 保健体育課（H28:スポーツ健康課）	%	79.7		80.1		79.7	79.7	80.0	80.0	高	平成27年度より「希望郷いわて元気・体力アップ60運動」が実施され、各校においてこの運動に対する理解が深まり、体力向上取組の充実が図られてきた。 今後も、実践研究で明らかになった成果を周知するとともに、学校・家庭・地域が連携した体力向上に係る環境づくりを支援していきたい。	平成28年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査
3	「特別の教科 道徳」の授業改善に取り組んでいる学校の割合 学校教育課（H28:学校教育室）	%	小		59.0		40.0	60.0	80.0	100.0	中高	県で実施する研修会に、各教育事務所において計画的に教員を参加させるよう取り組んでおり、学校における授業改善の取組が浸透しつつある状況である。引き続き、研修会及びリーフレットの発行を行い、道徳授業の充実に努めたい。	学校教育課調査
		中		52.0		30.0	40.0		60.0	80.0			
4	ニート等の自立に関する相談件数（累計） 若者女性協働推進室	件	24,404		35,938		29,300	34,300	39,300	44,300	高	平成28年度の年間相談件数は5,375件で、年間5,000件以上としている目標を達成できた。 今後も、支援対象者の意識啓発、地域の支援ネットワークの構築の活動を実施し、ニート等の社会的自立に向けた支援を強化していく。	若者女性協働推進室調べ
5	不登校児童生徒数 【↓指標】 学校調整課（H28:学校教育室）	人	小	143	183	141	139	137	135	低 低 高	平成28年度の小学校、中学校における不登校児童数の目標を達成できなかった。また、平成27年度と比較して、中学校で増加している。高等学校においては、不登校数は増加したが、中途退学者数は減少し目標を達成した。 引き続きスクールカウンセラー等を活用しながら関係機関と連携に努め、児童生徒の支援にあたって	平成28年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査（文部科学省）	
		中	791	876	783	775	767	759					
		高	555	541	549	543	537	531					
6	少年（20歳未満）の再犯者率 【↓指標】 警察本部少年課	%	17.4		33.1		25.0	25.0	25.0	25.0	低	平成28年は後半から非行歴を有する少年の検挙が増加し、11年ぶりに30パーセントを上回る値となった。 今後は、再犯防止に効果がある立ち直り支援活動について、非行少年及びその保護者の理解を得ながら支援対象少年の拡大を図るほか、「少年サポート	警察本部少年課集計
7	いわて希望塾参加者数（累計） 若者女性協働推進室	人	792		1,044		910	1,030	1,150	1,270	高	沿岸地域でのフィールドワークなど研修プログラムの充実を図るとともに、各教育事務所及び市町村教育委員会と連携し生徒募集を行った。年間目標値の120名には届かなかったが、119名の参加があった。引き続き、成果を実感できる内容の充実に努めたい。	若者女性協働推進室調べ
8	わたしの主張大会発表者数（地区大会含）（累計） 若者女性協働推進室	人	1,059		1,476		1,260	1,460	1,660	1,860	高	平成28年度のわたしの主張大会発表者数は206人で、年間200人としている目標値を上回った。 今後も関係機関との連携を図りながら大会を実施するとともに、アンケート結果等をもとに内容の充実を図っていきたい。	若者女性協働推進室調べ
9	いわて若者交流ポータルサイト登録団体数（累計） 若者女性協働推進室	団体	18		50		30	40	50	60	高	若者の交流促進や、活動支援の取組を進めたことにより、ポータルサイト登録団体数が順調に増加した。引き続き、若者の主体的な活動が活性化していくよう、若者活躍支援に取り組みたい。	若者女性協働推進室調べ
10	青少年活動交流センター利用者数（累計） 若者女性協働推進室	人	16,966		68,540		33,200	49,400	65,600	81,800	高	青少年活動交流センターを拠点とし、主体的に活動する青少年の育成・支援を進めたことにより、団体活動室利用者や各事業への参加者が増加した。 引き続き、青少年が社会との関わりの中で自立した活動ができるよう支援を継続していく。	若者女性協働推進室調べ
11	いわて・親子家庭フォーラム参加者数（累計） 若者女性協働推進室	人	5,356		13,592		6,860	8,360	9,860	11,360	高	親子が楽しめる参加体験型のプログラムを企画するとともに、市町村教育委員会及び青少年育成市町村民会議と連携し参加募集を行うことで、年々増加し、4,639名の参加があった。引き続き、関係機関・団体との連携を図り、内容の充実を図りたい。	若者女性協働推進室調べ
12	いわて希望塾参加者数（累計）※No.7再掲 若者女性協働推進室	人	792		1,044		910	1,030	1,150	1,270	高	沿岸地域でのフィールドワークなど研修プログラムの充実を図るとともに、各教育事務所及び市町村教育委員会と連携し生徒募集を行った。年間目標値の120名には届かなかったが、119名の参加があった。引き続き、成果を実感できる内容の充実に努めたい。	若者女性協働推進室調べ
13	いわて希望塾における青年サポーター参加者数（累計） 若者女性協働推進室	人	108		147		130	150	170	190	中	平成28年度の参加者数は21名で、年間目標値の20名を達成することができた。 今後も各大学や専門学校、関係団体等と連携し周知を図るとともに、青年サポーターの交流や自主的活動につながるよう、事業内容の充実を図っていききたい。	若者女性協働推進室調べ
14	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合 生涯学習文化財課（H28:生涯学習文化課）	%	91.0		93.1		91.2	91.4	91.6	91.8	高	「放課後子ども教室」や「放課後児童クラブ」等の公的な居場所を1つ以上設置している小学校区の割合が93.1%となり、順調に推移している。地域の子供たちの安全・安心な居場所を継続的に確保するとともに、プログラム内容の充実を図っていきたい。	生涯学習文化財課調べ
15	メディア対応能力養成講座参加者数（累計） 若者女性協働推進室	人	689		1,016		810	930	1,050	1,170	高	開催市と連携することにより目標を達成した。 青少年の健全育成において必要不可欠な分野であり、地域における情報メディア対応の取組み実態を把握したうえで、研修講座メニューの充実を図るなど、保護者や青少年の指導的立場にある方の積極的な参加を促していく。	若者女性協働推進室調べ
16	青少年を非行から守る県民大会参加者数（累計） 若者女性協働推進室	人	2,124		3,010		2,500	2,900	3,300	3,700	高	県警音楽隊によるアトラクション、「わたしの主張」「社会を明るくする運動」の受賞者による発表、課題となっているメディアを題材にした講演を行い目標を達成した。引き続き、関係機関・団体と連携を図り、参加者の増加を図りたい。	若者女性協働推進室調べ
17	刑法犯少年数 【↓指標】 警察本部少年課	人	269		199		265	262	258	255	高	数値としては目標値を下回ったものの、平成27年より9人増加したほか、再犯率の増加や低年齢化、特に中学生の検挙輔導の増加傾向が顕著であるなど、少年犯罪抑止に向けた課題がある。今後は中学生を中心とした非行・犯罪被害防止に向けた広報啓発を推進し、さらなる非行・被害少年抑止を図る。	警察本部少年課集計
18	少年（20歳未満）の再犯者率 【↓指標】※No.6再掲 警察本部少年課	%	17.4		33.1		25.0	25.0	25.0	25.0	低	平成28年は後半から非行歴を有する少年の検挙が増加し、11年ぶりに30パーセントを上回る値となった。 今後は、再犯防止に効果がある立ち直り支援活動について、非行少年及びその保護者の理解を得ながら支援対象少年の拡大を図るほか、「少年サポート隊」等のボランティアと連携した支援活動の強化に	警察本部少年課集計

（注）【↓指標】＝ 低減を目指す指標

指標名		単位	基準値		実 績	目 標				判 定	H28実績に対する担当課評価と今後の対応 （実績値がない場合は、その理由）	データの出所
			26年度			27年度	28年度	29年度	30年度			
S1	児童生徒の読書者率 生涯学習文化財課（H28：生涯学習文化課）	%	小 中 高	99 90 67	99 93 73						平成28年度「岩手県子どもの読書状況調査」	
S2	森林・林業体験学習の参加者数（累計） 森林整備課	人	5,721									
S3	家庭の教育力が低下していると思う保護者の割合 若者女性協働推進室	%	62.4 (H27)		62.4 (H27)						「平成27年度青少年の健全育成に関する調査」	
S4	生涯学習情報提供システム利用件数 生涯学習文化財課（H28：生涯学習文化課）	件	23,710		48,584						生涯学習文化財課調べ	
S5	生涯学習に関する研修会等への参加者数 生涯学習文化財課（H28：生涯学習文化課）	人／年	6,194		10,284						生涯学習文化財課調べ	
S6	新規高卒者就職率【↓指標】 学校調整課（H28：学校教育室）	%	99.6		99.7						岩手労働局発表資料	
S7	新規大卒者就職内定率 雇用対策・労働室	%	96.4		95.7						岩手労働局発表資料	
S8	新規高卒就職者の離職率 学校調整課（H28：学校教育室）	%	42.3		41.4						岩手労働局発表資料	
S9	いわて若者交流ポータルサイトアクセス数（累計） 若者女性協働推進室	件	2,124		42,012						若者女性協働推進室調べ	
S10	放課後児童クラブの設置数 子ども子育て支援課	か所	306		323						H28「放課後児童健全育成事業実施状況等調査」	
S11	教育振興運動実践区における活動実践数 生涯学習文化財課（H28：生涯学習文化課）	件	3,613		4,188						平成28年度教育振興運動推進状況調査	
S12	JICAボランティア参加者数（累計） 国際室（H28：若者女性協働推進室）	人	533		558						JICA東北調べ	
S13	町内会などの地域活動に参加したことのある青年の割合 若者女性協働推進室	%	21.3 (H27)		21.3 (H27)						「平成27年度青少年の健全育成に関する調査」	
S14	人口10万人当たりの刑法犯認知件数【↓指標】 警察本部生活安全企画課	件	395		329						警察本部刑事企画課資料	
S15	人口10万人当たりの交通事故死者数【↓指標】 県民くらしの安全課	人	5		5.8						県警データ	
S16	情報モラル教育を実施している学校の割合 学校調整課（H28：学校教育室）	%	100.0		100.0						学校調整課調べ	
S17	教育振興運動各実践区等で「情報メディア」に関する活動に取り組んでいる割合 生涯学習文化財課（H28：生涯学習文化課）	%	19.7		75.9						平成28年度教育振興運動推進状況調査	